

今月の表紙
日光よさこい祭り



今月の表紙は9月15日(土)、16日(日)の2日間行われた日光よさこい祭りで華麗な演舞を披露してくれた祭会の皆さんです。

よさこいの本場、高知県のチームを含む45チームが参加した日光よさこい祭り。舞台は日光東照宮五重塔前と東武日光駅前、JR日光駅前に設けられました。

市内からは日光飛美輝、魁日光飛美輝、猿舞迅、祭会の3チームが参加しました。猿舞迅代表の佐藤さんは、「今回はよさこいに琉球太鼓を取り入れてみました。よさこいの枠を超えて楽しいものができました」と話してくれました。また、娘さん2人と参加した祭会の柳田さん(七里)は、「年齢を問わずみんなで盛り上がるので楽しいですね」と話してくれました。



猿舞迅の皆さんは、琉球國祭り太鼓栃木支部との競演で、ヒップホップを取り入れた踊りを披露してくれました。



訪れた人たちは、新鮮な野菜や果物を手に取ったり、お店の人と話をしたりしながら楽しそうに買い物をしていました。

9月16日(日)、市公設地方卸売市場で日光市場9月新鮮市が行われました。この催しは、今回卸売市場で初めて開催された企画です。卸売市場の代表である手塚庄右衛門さんは、「普段は、商売をしている人たちが仕入れをしている市場を、一般の人たちにも開放しました。ここでは、農家の人たちが作っている物を自分たちで直接売っているので、とれたてを味わう

ことができるんです。これから、年に数回は開催していきたいですね」と話してくれました。訪れた人たちからは、「野菜がとっても安くうれしい」、「新鮮なものばかり並んでいる」など、喜びの声が多く聞かれました。野菜や果物のほかにも、水産物や乾物、生花、日用雑貨なども販売され、どの売り場も大勢のお客さんでにぎわっていました。

日光市場9月新鮮市

これにより、市内では停電や住宅の床上・床下浸水のほか、道路の崩壊や土砂崩れ、住民の方が軽傷を負うなど、さまざまな被害が出ました。栗山地域では、湯西川地区で土砂崩れや県道黒部西川線

市では7日に災害対策本部を設置し、情報の収集や被害に対する復旧対策に努めました。

現在では、土砂崩れや崩壊により通行止めとなった道路は、すべて復旧しています。



①増水した湯西川の影響により、道路が崩壊した県道黒部西川線。②鬼怒川の増水により、被害を受けた大滝遊歩道(藤原地域)。

台風9号が日光を直撃し、大きな被害が...

山のもの何でもござるまつりが9月30日(日)、中三依示現神社前広場で開催されました。この日はあいにくの空模様でしたが、多くの観光客が詰めかけました。会場には、山の幸や手打ちそばなどの地元特産品を販売するテントがずらりと立ち並びました。ステージでは、そばの早い競争や郷土芸能発表などが行われ、訪れた人々を楽しませていました。また、(財)日本民謡協会主催の



民謡日本一の古田さん。こぶしの効いた歌声を披露してくれました。

山のもの何でもござるまつり

民謡民舞全国大会での内閣総理大臣賞をはじめ、数々の日本民謡の賞を受賞している市内在住の民謡歌手、古田佳子さんの民謡ショーも行われ、観客の皆さんは日本の歌声を間近で堪能しました。今回初めて会場を訪れ、もちつき体験をした高橋さん(宇都宮市)は、「見ているのとは違って、実際に上がると難しかったです。出た踊りを披露してくれました。」



10月6日(土)に日光運動公園を会場にして行われた日光けっこうフェスティバル。今年で9回目を向かえ、日光下駄飛ばし選手権大会や関東一芋煮会、屋台横丁、石ころアートコンテストなど、盛りだくさんの内容で行われました。この日は天気にも恵まれ、多くの家族連れでにぎわいました。日光下駄飛ばし選手権大会に初めて出場したという日光小学校1

日光けっこうフェスティバル



を訪れた人はさわやかな秋の夜を楽しみました。

ヒューマンフェスタ



ヒューマンフェスタ in 日光が10月8日(月・祝)、今市文化会館や中央公民館で行われました。文化会館では、人権ポスター優秀作品の表彰や人権作文優秀作品の朗読に続き、講演会とミニコンサートが行われました。落語家露の新治さんを講師に迎えて行われた講演会では、ユーモアを交えた話に、会場は笑いに包まれていました。